

令和5年8月3日



玉工通信

第6号

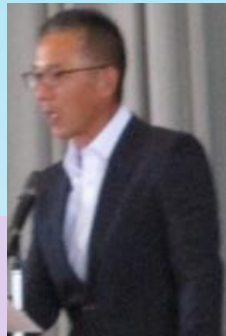


〒 311-3501 茨城県行方市芹沢1552
TEL 0299-55-0138 FAX 0299-55-3454
<http://www.tamatsukuri-th.ibk.ed.jp>

7月21日は閉講式。大掃除、表彰式、全校集会、学年別集会、LHRが行われました

表彰式 ソフトテニス部

関東大会茨城県県東地区予選 男子団体 第2位
全国大会茨城県県東地区予選 男子団体 第3位
全国大会茨城県県東地区予選 個人 第3位



7月21日 閉講式 校長訓話

生徒の皆さん、おはようございます。

本日は玉造工業高校はこんなに凄いなという話をしたいと思います。

卒業後、就職することを前提とした話の内容ですが、進学を考える人にとっても大事な話ですので、よく聞いてもらいたいと思います。

まず、玉造工業高校は約7割が就職をする学校で、地域で活躍できる工業人の育成を目指していることはご存知だと思います。そのため、本校では工業に関する基礎的な知識や技術と、社会に出て必要な人間力が身につくように教育を実践しています。

さて、皆さんは、玉造工業高校は入りたくて入学したと思います。中学生の中にはやりたい勉強や部活があるという理由で高校を選ぶ人もいるかもしれませんが、偏差値の高い良い高校へ進学したいと思って高校を選ぶ人もいないのでしょうか。

また、大学選びにおいても偏差値の高い良い大学に進学したいと考える人が結構多いのではないのでしょうか。ではなぜ、多くの人は良い大学や良い高校へ行きたいと思うのでしょうか。

当たり前の話ですが、良い会社などに入って、幸せな世話を送りたいと考えるからです。

例えば、日本の大学生の多くは、この勉強をしたいからという人もいますが、この仕事をするために、この大学の勉強が必要だからという理由ではなく、まだ仕事をしたくないからとか、将来何をやりたいかわからないからとか、あの大学に行けば良いところに就職出来そうだからといったあいまいであったり、軽い理由で大学に進学している人も多いと思います。そして、卒業が見えてきたとき、仕方なく就職活動に取り組む人も多いと思います。

これに対して、海外の大学では卒業後の就職を見越して、勉強に励み、働くためのスキルを向上させる傾向があります。

会社から見れば、自分の会社のために必要なスキルを持っていて、一生懸命に働いてくれる人材を採用したいわけです。まして、大学卒業の人を採用するという場合には、会社で必要とするスキルがあるかは大変重要です。4年間何となく勉強して楽しく大学生活を過ごしてきた大学生を採用したいとは思わないわけです。会社が必要とするのは、会社で必要なスキルの高いエキスパートです。なので、日本の大学生の就職の現状は厳しい状況なのです。

では、工業高校にいる皆さんはどうでしょうか。皆さんは会社に入って必要なスキルを持っていますか？持っていないですね。でも、それは当たり前で、それはそれでいいんです。

少し話は変わりますが、会社から見れば、工業高校の生徒と普通高校の生徒は大きく違います。高校生の求人を出しているほとんどの会社は工業高校の生徒を採用したいと思っています。なぜ、会社はそう思うのでしょうか。同じく高校生なんだから普通高校でも良いと思いませんか？

理由として大きいのは、工業高校へ入学してくる生徒は3年後に就職しようとして入学している生徒が多いと考えているし、3年間工業高校で、社会に出るための人間力が付いていると考えているのです。つまり、働く意欲を持っていて、社会に出て必要な人間力を備えているということです。

行事予定

8月 3(木) 全校登校日(1・2・3年)
8月 4(金)～5(土) 玉工学校公開
8月 6(日) 小型車両建設機械講習(実技)
8月 7(月) 振替日・技能検定3級(旋盤)
8月 14(月)～16(水) 学校閉庁日
8月 20(日) 技能検定2級(旋盤)
8月 21(月)～22(火) ガス溶接技能講習
8月 17(木) 3学年登校日・面接全体指導
8月 18(金) 3学年校内選考(就職)
8月 28(火)～30(水) 業者による面接指導(3年)

就職県内求人件数は、7月20日現在、890件です。(県内求人件数は、昨年度830件、一昨年度630件です。)

例えば、「あいさつ」です。皆さんのあいさつは大変素晴らしいものです。気持ちよく挨拶してくれる生徒がたくさんいます。外部の人が来たときに「玉工のせいとはよくあいさつができますね」とよく言われます。皆さんの挨拶を聞くだけでも、求人にくる会社の人は玉造工業の生徒を採用したいと思うのではないのでしょうか。

普通高校の生徒は、働きたいから高校へ進学したのではなく、何がやりたいかわからないから、とりあえず普通高校へ進学した生徒と見られています。そして、3年生になって、まあ、就職かなと考えた生徒と見られるところがあります。

そのような、軽い気持ちの普通高校生を採用して、会社のために頑張ってくれると考えられないのです。ですので、工業高校生をぜひ採用したいという会社が多いのです。

また、少し話がそれてしましますが、630、830、890、さて何の数字だかわかりますか？

これは、本校へ届いた県内企業からの求人票の数です。昨年度が830その前の年度が630、今年はすでに890件に達しています。みなさんのすばらしいあいさつもこの数に影響しているかもしれません。本校は、この県東地区の高校で最も求人票が届く学校です。それだけ、就職するのがどの学校よりも有利だということです。

さて、先程の話ですが、皆さんには、会社で必要なスキルは身につけていません。本校では、昔ながらの実習も多く、基礎的な手作業のもののづくりを教えています。現在の会社で実践されているものづくりは、コンピュータやロボットによる高度なものです。この、新しいスキルは皆さんが、会社へ入社して会社で教えてくれます。大学生が4年間過ごす間に、就職した皆さんは会社の中でしっかりと教育を受け、新しいスキルを身につけたエキスパートになってしまわなければなりません。

これからの社会は変化が激しく、予測が困難な時代といわれています。情報化社会ともいわれ、あらゆる情報が手に入り、次から次へと新しい物が開発されていく社会です。このような社会では、誰でもできる単純な作業はどんどん、自動化、ロボット化されていきます。今まで大学生を出た人たちがやっていたような仕事ですら、どんどんなくなっていくと予想されます。そのような社会で生きていくためには、一般的には探究心や協働して1つのことを成し遂げる力が必要といわれています。また、社会が求めるのは、何でも浅く広くできる人材よりも、ロボットに仕事を奪われないような専門的なスキルの高い人材となります。高校卒業か大学卒業か日本人かアメリカ人か中国人かインド人なのか、そのようなことは関係ありません。

高いスキルを持った人材の必要性が高まるのも、変化が激しく、予測が困難な時代なのではないかと思えます。

皆さんには、近隣の多くの企業が大きな期待を寄せています。皆さんは卒業後数年で素晴らしいスキルと身につけたエキスパートになれる、金の卵です。

そして、皆さんの多くはこれから、この地域の企業へ就職し、安定した給与や福利厚生を得ながら、幸せな生活を送れると考えられます。

卒業して10年、20年経ったとき、中学校の同級生で偏差値の高い良い学校へ行ったあの友達より、皆さんは幸せな生活を送っているかもしれません。

まずは、本校で基礎的な知識・技術や、社会人として必要となる人間力をしっかりと身につけてもらいたいと思います。

本日は、働くことの話しでしたが、進学を目指す人にとっても、本校の教育は大変有効なものです。本校で行っている基礎的な知識や技術、そして人間力を身につけることは、大学や専門学校では教えてくれない、貴重なものですので、本校でしっかりと身につけてもらいたいと思います。

明日から、夏休みとなりますが、自分の将来のことを考え、将来の目標をしっかりと立てて、卒業後の就職につながっていくような有意義な時間にしてもらいたいと思います。

以上で、閉講式の挨拶といたします。

7月21日(金) 閉講式

生徒指導部長訓話



遊泳禁止



夏季休業中に①命を失う事故にあわないようにすること②事件やトラブルに巻き込まれて居場所を失わないようにすることを心がけてほしい

①命を失う事故にあわないようにすることについて

1. 交通事故

被害者にも加害者にもならないようにしてほしい。特に原付バイクでの暴走行為等では事故の確率が高くなり、命を落とす危険性があることから注意してほしい。

2. 水難事故

水の事故は致死率が高い。「危険」や「立入禁止」と書かれた場所は注意が必要。その場の勢いで不慣れな場所に遊びに行き、命を落とすことがないようにしてほしい。



②事件やトラブルに巻き込まれて居場所を失わないようにすることについて

1. SNSトラブルに注意すること。不用意な言葉が相手の勘違いを生み、自分が知らないところで話が大きくなっているかもしれない。からかいからいじめ、いじめから不登校、不登校から自死(自殺)のような最悪のケースもありうる。不安やもやもやがあれば信頼できる大人に話してほしい。学校でも良い。
2. うまい話、楽に稼げる話は闇バイトの可能性を疑うこと。実行犯でなければ大丈夫自分は犯罪に加担していないなどと思っても、実際は同じグループとして扱われている。件数が急激に伸びている、高校生は闇バイト募集の対象になっている。



7月20(木) 薬物乱用防止講話

・目的

薬物乱用がもたらす心身への影響、依存症、疾病との関連、社会への影響などについての理解を深めるとともに、適切な意思決定や行動選択ができる資質と能力を身につけさせる。またそれらと関連深いSNSについての理解を深め、使用方法について考える。

・講演内容

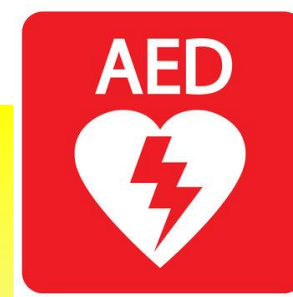
薬物乱用防止・SNSに関する講話

・講師

茨城県行方警察署 生活安全課課長 秋山 甲輔 様



AED講習会



鹿行広域事務所組合消防本部
行方消防署の協力により、普通
救命講習(AED講習)会が行わ
れました(後日、修了証が発行されます)

7月 24 日(月)～ 26 日(水)の3日間(9:00～12:00)

本校大会議室

運動部所属生徒73 人と教職員26 人が参加

実施目的

緊急事態時に実践できるようにするため、① AEDに対する正しい知識と使用が可能になる。②救命に必要な応急手当として、基本的な心肺蘇生法の実技やAEDの使用方法、異物除去法、止血法などを学ぶ。



針生さん（玉造工）優秀賞

関東電気保安協 高校生作文1469点

関東電気保安協会（東京）の「第11回高校生作文コンクール」で、県立玉造工高校（大塚哲哉校長）の電気科2年、針生諒士さん（17）の作品「電気を通じて学んだこと」が優秀賞に選ばれた。行方市芹沢の同校で12日、表彰式があり、針生さん

塚陸斗さん（16）が奨励賞を受賞した。飯塚さんは「電気はとても身近で大切な役割。配線などやってみたい」と将来への意気込みを語った。大塚校長は「地域の電気に関する技術者としてこれからも頑張ってほしい」と2人を祝福した。

（鈴木地弘）

コンクールは、電気技術者を目指す高校生の育成支援を目的に実施。関東地方の工業高の電気・電子学科などの生徒に「電気技術者としての夢や抱負」などをテーマに1200文字程度の作文を募った。今年は40校から1469点の応募があった。

針生さんは、5歳の時に当時住んでいた宮城県で東日本大震災を経験。電気だけがすぐ復旧せず、疑問に思っていたが、裏では命懸けで復旧作業に取り組む作業員がいたことを後に知り、当たり前に使っている電気は誰かの支えで成り立っていることに気付いたことなどを綴っている。

優秀賞を受賞した針生諒士さん（中央） 行方市芹沢

同校からは針生さんのほか、同科2年の飯

7月14日(金) 全校野球応援・観戦 玉造工業vs牛久栄進
(2回線 ノーブルホームスタジアム水戸)
全校生徒が各選手のプレーを精一杯応援しました。

試合の結果は？

TEAM	1
玉造工	0
牛久栄進	3



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E	
玉造工	0	0	0	0	2						2	3	1	B
牛久栄進	3	5	1	4	X						13	12	0	S
														0
											km/h			

3	4	5	6	7	8	9	UMPIRE	TN	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	5	4	9	8	7	3	PL 1B 2B 3B	玉造工	4	6	1	3	2	9	8	7	5
奥田	青大	中奥	高				吉伊佐倉	小豊	小山	高中	菅高	竹					
久							藤藤	松	島	野	野						
窪中山	保島	野貴					野歩駿田	崎島	倉本	駿村	谷利	内					

ノーブルホームスタジアム水戸



牛久栄進応援団



玉工観戦席

Partial scoreboard showing the top of the game:

TEAM	1	2	3	4	5
玉造工	0	0	0	0	2
牛久栄進	3	5	1	4	

2023/07/14

